



学校だより

令和元年 11月29日

第23号

四日市市立小山田小学校

12月 師走を迎えます！

校庭や学校周辺の落葉樹も日を追うごとに色づき、秋の深まりとともに日によって吹く木枯らしには、本格的な冬の到来を感じさせる季節となりました。本校の子どもたちには、まだ風邪や発熱による欠席者もほとんどいませんが、市内の小学校では、インフルエンザの集団発生による学級閉鎖も報告されています。学校でも屋外から戻った時には手洗いとうがいを励行させていますが、ご家庭でも十分な睡眠と栄養面等、お子さんの健康管理に留意いただくようよろしくお願いします。



2学期も残すところ3週間となり、各学年、各教科の学習のまとめを進めながら、子どもたちに生活の振り返りをさせています。18日（水）～20日（金）は、希望されたご家庭のみの個人懇談会を実施します。終業式の23日（月）に「あゆみ」（連絡表）を担当より渡しますので、3学期の意欲につながるよう、ご家庭でもお子さんの頑張ったこと・成長したことを中心に2学期を振り返っていただくようお願いいたします。

東門を入った学校林の紅葉↑

力を出し切って走った マラソン記録会！

曇り空ではありましたが、風もほとんどなく気温が15度前後と絶好のマラソン日和となった28日（木）の1～3限目に、学年別にマラソン記録会を行いました。校庭の応援エリアやコース沿道には、朝から多くの保護者や地域の方々が応援にみえて、子どもたちに温かい声援を送っていただきました。また、小山田駐在の原田さんにも、パトカーで子どもたちを見守っていただきました。おかげさまで、ケガや事故・体調不良者もなく参加児童全員が無事完走することができました。ありがとうございました。

子どもたちは、これまで約1か月間、20分休みに5分間のかけあし運動をしたり体育の時間に試走したりして、この日のために持久走に取り組んできました。その練習の成果を発揮することと、一人ひとりが自分の目標を定めて走ることをめあてに、どの子も途中であきらめることなくゴールまで力いっぱい走り切りました。また、最後の一人がゴールするまで「がんばれ」「あと少し」などと一生懸命応援していました。走り終えた後の子どもたちの表情は、どの子も力を出し切った達成感で輝いていました。

閉会式で「マラソンと同じで人は苦しい時や辛い時ほど、他の人と比べるのではなく、自分に打ち勝つ気持ちを持つことが大切」であることを話しました。子どもたちには、この記録会での頑張りを今後の学習面・生活面での糧にしてほしいと思います。<※ 写真は上段左から1・4・5年生、下段左から2・3・6年生>



5年生理科「主体的・対話的で深い学び」

令和2年度より小学校では新学習指導要領が本格実施となります。それに伴い、中学年の外国語活動や高学年の外国語科の時間増や道徳の教科化、プログラミング教育の導入などが行われる（いずれも本市では先行実施しています）ほか、各教科で「どのように学ぶか」についても、知識や技能を身に付けるだけでなく、それを生活でどう使えるようになるかを重視していきます。「主体的・対話的で深い学び」を意識した授業改善が求められているため、本校では、これまでも各教科で、様々な実体験に基づいた学習や実際の生活場面に結びつくような課題の提示をすることにより、子どもの実感を伴った学習活動に取り組んできました。

次の写真はいずれも11月に行われた5年生の理科の授業です。左の授業では、河川の水の流れの学習で、前時に実際の河川観察に出かけた後、芋を掘り終えた畑で実際に山を盛り上げて川を作り上流から水を流して、その様子を観察しました。すると川の曲がり角では、外側の流れが速く内側の流れが遅いこと、上流ほど次第に荒い石が表面に浮き、下流ほど滑らかな砂状になることなどを見て体感することができました。また、右の授業では、振り子の学習で、子どもたちが実際にブランコに乗り、1分間に前後にこいだ回数を数えました。すると、体の大きさが違ったり、こぐスピードが違ったりしても、1分間にこげる回数は同じことや、鎖の短いブランコでは回数が多くなり、長いブランコでは回数が少なることを体感することができました。まさに、主体的に活動し、先生や友だち・教材と対話した深い学びとなった学習と言えるのではないのでしょうか。

＜左2枚が河川、右2枚が振り子の学習＞



思い出いっぱい給食メニュー！

3月の給食の献立テーマは『思い出いっぱいメニュー』です。教育委員会が6年間に食べた給食の中で、どんな給食が思い出に残っているか市内小学校の6年生にアンケートを取りました。アンケートの中から思い出に残っている給食をいくつか取り上げ3月の給食に出されます。さて、本校6年生のアンケートの結果は？

＜思い出メニューベスト3をエピソードとともに紹介します＞

1位 津ギョウザ（10票）

「初めて津ギョウザが出たとき『でっか！このギョウザ』と思った。1個で十分と思うくらいお腹がいっぱいでおいしい。」

「まずギョウザを揚げてあることにびっくりした。とても大きくて皮がパリパリしていて、中の具はジュシーでとてもおいしい。」

「津ギョウザが残っていたらじゃんけん大会が盛り上がっていたし楽しかったから。」

2位 緑茶あげパン・ビビンバ（5票）

「緑茶あげパンは、給食にしか出ないから、その日、心の中ですごく喜んだのを覚えている。」

「みんな口のまわりが緑になって、グリーンモンスターと言って笑った。」

「普通のビビンバより味が薄めで、口の中でヒリヒリしないのでおいしい。」

3位 イカのレモン風味あげ・五目ラーメン（2票）

「イカが苦手で、減らそうと思ったけど、食べたらイカのカリカリとレモンが合っていておいしかった。」

「ラーメンは好きではなかったけど、給食で食べるようになって、おかわりまでするようになった。」

番外編

「給食にスープが出る日は学校に行くのが楽しみだった。1年生の時に学校で食べた卵スープがおいしくてその時から卵スープが好きになった。」（※ この子たちスープおかわり女子は“汁女軍団”と名づけられ、必ず2杯目に笑顔で並んでいたそうです。）